

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第379号

09年12月13日発行

新入学の受入枠を全区に拡大

クラス35~37名の少人数学級へ

| 学校名 | 22年度 | 現一年 | 現二年 | 現三年 | 現四年 | 現五年 | 現六年 | 受入枠 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 城南 | 56 | 49 | 58 | 56 | 62 | 58 | 25 | 70 |
| 浅間台 | 25 | 17 | 16 | 11 | 27 | 17 | 13 | 70 |
| 城南第二 | 103 | 68 | 85 | 73 | 67 | 78 | 68 | 105 |
| 鮫浜 | 21 | 17 | 35 | 19 | 17 | 32 | 21 | 70 |
| 立会 | 116 | 99 | 100 | 105 | 111 | 94 | 85 | 105 |
| 浜川 | 53 | 55 | 50 | 68 | 66 | 61 | 70 | 70 |
| 台場 | 36 | 33 | 29 | 51 | 38 | 39 | 44 | 70 |



学校選択制は廃止し、30人学級
で子どもたちに豊かな教育機会
の提供を

品川区教育委員会は、20・21年度と一クラスを切る受入枠を設定する小中学校を増加させてきましたが、これを22年度から全区に拡大する方針を表明しました。こ
実質的な少人数学級への移行です。

品川区は学校選択制を00年から01年にかけて導入し、10年が経過しました。

この制度は・・・
① 学校選択機会の拡大

② 特色ある学校づくりの推進

③ 学校の自主性・自立性の実現

④ 学校力の向上などを掲げて推進してきました。

しかし、学校によっては、入学者が減って部活動が成り立たなくなったり、学区外の学校に通う子供が地域の祭りに参加しなかったりする状況が発生。そのため、来年度入学予定者の取り扱いについて品

川区教委は、各学校で学級数を定めてクラス受け入れ人数は1学級が35人として2学級は70人、3学級105人、4学級145人、5学級185人とします。



ます。

国基準は「ひとクラス30人」ですが「少人数学習」制度として実施するもの。転入でクラスの人数が40人を超えても年度途中はクラスを増やせないため、あらかじめ転入ワクを設けると導入の狙いを説明し

これにより、表のとおり城南・浅間台・鮫浜・浜川・台場の各小学校は70名で2クラス、城二・立会

の小学校は105名で3クラスとなりません。

希望者が35人のワクを超えたらどうするか―区教委は、通学区内を優先して区域外からの希望者は抽選する。区域内だけでワクを超えた場合は国基準の40人まで受け入れると説明します。

「学区内優先」と選択制の矛盾

転入ワクを設けると導入の狙いを説明し



選択制は地域と学校、生徒の関係を壊

したと住民から批判が集中しており、見直すべきです。また、学校統廃合との関係でも矛盾が出てきます。教育長の諮問機関

「学事制度審議会」が昨年11月に答申した内容は、子どもの人数が減少するという将来予測を根拠にして荏原西と荏原東地区で小学校を、大井地区で中学校を統廃合するよう求めています。

「1クラス40人」が前提です。しかし、少人数学級にしたらクラス数が増えるのは当然。統廃合すべきではありません。

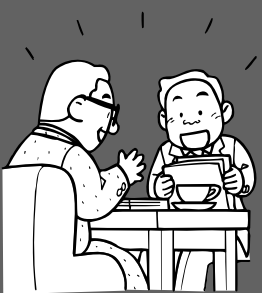


無料法律相談会（生活相談は随時）

ところ すずらん通り事務所

日時 12月16日（水）

午後6時～8時



前日まで15742-6818までお電話を下さい。